

学力向上研究指定校事業第2回連絡協議会・報告資料

平成28年度の取組の概要

学 校 名	気仙沼市立気仙沼小学校	主な取組教科	国語・算数・防災教育・海洋教育	
研 究 主 題	課題発見・解決に向けて主体的・対話的に学ぶ児童の育成 ～願い・思いを豊かに育む深い学びの実現を目指して～		研究年次	1 / 3年次

1 今年度の主な学力向上の取組と成果

学力向上の取組	成 果	評価の根拠
「課題設定」「解決への見通し」「対話」を重視して授業改善を図ること	課題意識をもって学習に取り組む児童が多くなり、課題解決に向けた対話的な学びを充実させることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が教師との対話を通して自ら課題を設定し、探究するようになったこと。 ・意識調査の傾向に変容が見られたこと。
補充・発展学習を充実させること	基礎的・基本的な知識の定着や、深い思考を要する発展的な学習が、児童の学習意欲の向上につながった。	<ul style="list-style-type: none"> ・「気小プラスワン運動」への主体的な取組が見られるようになったこと。 ・教師に質問する児童が増えたこと。
授業と家庭学習の内容を連動させること	家庭と学校が協働して児童の学力向上を支える体制ができつつある。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間が十分に確保されたこと。 ・学力向上に向けた取組について保護者に関心をもっていただいたこと。

2 残された課題と今後の方向性

課 題	改善の方向性
対話的な学びが「分かる児童が分からない児童に一方的に教える時間」になってしまうことがあること。	ペアやグループの組ませ方を工夫するとともに対話の観点を明確に示し、児童が目的をもって対話的に学べるようにする。
深い学びの実現に迫ることができたかどうかを授業者や参観者が評価・判断することが難しいこと。	「深い学び」の捉えをさらに具体化し、職員の共通理解を図る。研究授業を重ね、児童がどのように学んでいるかを重視して参観し合うようにする。

◆気仙沼市立気仙沼小学校 研究関連URL : <http://www.kesenuma.ed.jp/kesenuma-syou>